

S.COAT No.2015 ECO TXクリヤー

(PRTR 特化則対応 高外観タイプ 10:1)



1. 製品の特徴

(4類第2石油類 荷姿 16L 2014年6月上市)

- 1) 標準タイプの PRTR 特化則対応のクリヤーです。
- 2) 乾燥性、研き作業性と仕上がりバランスが良好なクリヤーです。
- 3) 他社 10:1 に比べ光沢が良好で磨き作業性、ボカシ際の馴染み、および密着性に優れ、膜切れが起こりにくいクリヤーです。
- 4) 実車塗装実績 20 万台。促進耐候性試験合格。

2. クリヤー、硬化剤、シンナーの配合量と希釈塗料の可使用時間

混合比率 (重量比率)			希釈塗料の可使用時間(時間)		
クリヤー	硬化剤	シンナー*	10℃	20℃	30℃
100	10	5~15	10	5	3

*シンナーは推奨量であり、状況により量を調整してください。

3. 乾燥時間

	乾燥温度 (℃)			
	10℃	20℃	30℃	60℃
指 触 乾 燥	10分	7分	5分	—
強制乾燥前セッティング	0~5分	0~5分	3~5分	—
コンパウンド研ぎ可能	48時間	16時間	8時間	30分
屋 外 放 置 可 能	48時間	24時間	16時間	20分
ガ ソ リ ン O K	5日	72時間	48時間	60分
再 塗 装 可 能 時 間	—	—	—	60分
完 全 硬 化	—	7日	7日	80分

※膜厚、塗装面積、諸条件により乾燥時間は若干変わります。(標準膜厚30~50μ)

4. 硬化剤の気温による選択基準 (TXクリヤー単独で1年間通じて使用する場合)

硬化剤名	塗装温度 (℃)			
	5	15	25	35
速 乾	○	○	○	△
標 準	△	○	○	○
遅 乾	×	△	○	○
超 遅 乾	×	×	○	○

※冬場は超速乾や速乾シンナー、春秋は標準シンナー、夏場は遅乾や超遅乾シンナーを使用してください。塗装回数は2.5~3.5回。ボカシ塗装は残りのクリヤーに1回目シンナーを30~50%、2回目さらにシンナーを50%添加し2段ボカシで行う。

※塗装の動画をYouTubeで公開しています。

5. 冬場は作業性を夏場は仕上がり性を希望される場合 (HXクリヤーとの併用)

製品名	適正温度範囲 (℃)			備 考
	硬化剤速乾	硬化剤標準	硬化剤遅乾	
冬 HX	5~15	10~15	—	5℃以下では硬化促進剤の利用も検討下さい。
春・秋 HX / TX	—	15~25	—	HX / TX の併用あるいは混合で使用下さい。
夏 TX	—	20~30	25~40	夏場は遅いシンナーを利用下さい。

※HXとTXクリヤーの併用あるいはブレンド(混合)で季節に合わせた使用方法を行ってください。

※高級車にはFTⅢ等のクリヤーの併用もおすすめします。